

全国知事会会長記者会見録
(全国知事会議、総務大臣・地方六団体会合終了後)

日 時：平成27年1月8日(木) 19:20 ～ 19:40

場 所：都道府県会館6階 知事室

(山田全国知事会会長)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。本日の全国知事会議の様様はお聞きになっていたと思いますので、特に私の方からのブリーフィングはせずに、質問があれば受ける形とします。

(記者)

先ほどの知事会議の中で、溝口島根県知事が交通網、ナショナル・ミニマムのお話をされ、その部分に差がある状態だと、なかなか将来の絵を描こうとしてもできないという趣旨だったと思いますが、地方創生の今までの議論を見ますと、国の総合戦略の中にはナショナル・ミニマムの問題はそもそも外されてしまっています。また、産業の空洞化や商店街で閑古鳥が鳴いていること、田舎の医師不足などについて正面から答えたものがないように思います。

確かに大切なことがたくさん政策として並んでいますが、困難で巨額の資金が必要なことが国の総合戦略の中には入っていないような印象を受けますがいかがでしょうか。

(山田全国知事会会長)

ナショナル・ミニマムの問題については、まさにその通りで、実はこの問題については、以前から石破地方創生担当大臣にも申し上げてきましたし、年末の緊急提案でも、市長会、町村会とともに、地方が頑張ることのできる条件作りをして欲しい、という要請も行ってきました。また、昨年末の衆議院議員総選挙に際しても、総合戦略・政権評価特別委員会の委員長である平井鳥取県知事を中心に、そのことを要望し、自民党の公約の中に「格差是正を図るインフラ整備」というものを、入れてもらった経緯もあります。国土強靱化の問題などと連携して、これから求めていかなければならないと思っております。

また、先ほど終わった地方六団体と、高市総務大臣をはじめとした総務省幹部の方々との会合でも、地方が頑張ることのできる基盤整備をしていただきたいということ、かなり強く申し上げ、そのため、投資的経費等の確保が必要になるという話をいたしました。

(記者)

これから地方版の総合戦略を各自治体、都道府県も含め作っていくことになると思いますが、計画の策定の進捗具合についてお耳に入っていることがあればお聞かせください。

(山田全国知事会会長)

実質的には平成28年度から本格化するという形ですので、まさにビジョンづくりはこれからです。ただ、我々はビジョンづくりが一番メインの課題ではないと思っています。

本来であれば、地域が直面している課題は山ほどあるわけですから、それを地方創生という形で解決していかなければならないので、ビジョンづくりに作業の手間をとられて、肝心の課題が解決しないというのは全く主客転倒していると思います。その点は国へも強く申し上げております。

(記者)

国が計画を見て、いい計画のところには、補正も含めてだと思いますが、優先してつけるのだという趣旨の発言もありますが、その点はどうお考えですか。

(山田全国知事会会長)

何をもっていいと言えるのか、私はいつも、そこだけは注意してくださいと言っているのですが、国の役人を見て、「これはいい計画だ」などという判断ができるのであれば、誰も苦勞はしません。地域でみんな必死になって考えた内容であっても、簡単に成果が出るものでもありません。まさに、今回のような交付金については、国が査定をして、国が思うような芸をしたところにお金をあげるといような話は、地方にとっては変な形であり、中央集権そのものになってしまいます。

そういうことに対しては、やはり我々の工夫というものをしっかりと見守っていただきたいということを、これからも言っていかなければならないと思っています。

(記者)

確認ですが、地方創生の政策・財源が出てきた中で、今のお話を聞くと非常に厳しい評価にも思えますが、国の今の政策の全体図をどう評価されますか。

(山田全国知事会会長)

地方創生という形で少子化対策、東京一極集中是正、地域経済活性化対策に向かい合ってくれたことは、大変高く評価しております。アベノミクスの問題点は地方経済にあり、その根本にある少子化や東京一極集中に目を向けていただいたという点は、非常に評価をしています。

ただどうしても、政治が主体的に地方に任せていくとおっしゃっていても、霞ヶ関の段階に来ると、ともすれば国が地方をコントロールしがちになるため、その時はしっかりとものを申し上げないといけないと考えております。

(記者)

企業の地方移転の税制ですが、もともと全国知事会で富山県案として出てきたものからすると、与党大綱の税制の内容は、形態がかなり違ったものになっています。その点はどうお考えですか。

(山田全国知事会会長)

これは、一步ずつ積み上げていくしかないと思っています。すべてがこちらの思うとおりにはいかないという面もある中で、今回、とにかく芽が出たということは、評価して

います。我々はそこからさらに、多極分散型国家をつくるための税制を求めていきたいと思っています。また、もう一つの少子化対策についても、新しい税制ができたという点で、方向性としては一定評価しており、これからさらに動向・実績をみながら内容の充実を求めていきたいと思っています。

(記者)

先ほどの地方六団体での要望も含めて、別枠加算についての高市総務大臣の回答をどのようにお考えですか。

(山田全国知事会会長)

今日の総務大臣・地方六団体会合の際にも、私から突っ込んだ言い方をして、財務局長にも回答していただきましたが、別枠加算の1.2兆円について実質的に確保していく、という表現をしていました。

実質の中身とは何かというところですが、以前からできるだけ恒久化したいという議論がありました。我々としても、別枠加算という臨時的なものから恒久化していく方向はその通りだと思いますが、恒久化の中身が問題であり、単なる地方創生との置き換わりであればおかしいと思います。今日も繰り返し申し上げましたが、そののところがしっかりと地財折衝に託したいと思います。

(記者)

国への要請、注文はよく分かりますし、ナショナル・ミニマムは守らなくてはならないと思いますが、今年全国知事会としてどういったことをやっていく予定ですか。

(山田全国知事会会長)

少子化対策というのをずっとやってまいりましたが、1年間でそれを変えられるということは無いと思いますから、地方創生の大きな眼目である少子化対策、東京一極集中の是正、地域経済の活性化ということをやっていかなければならないと思っています。

それに加えて先ほど申し上げましたように、地域間格差の問題がずいぶん出てきています。それを全国知事会としてどういう形で広域的に解決していくのか、地方創生ではネットワーク化と重点化という話が出てまいりましたが、そうした格差是正というものをどうやって自分たちの中で進めていくのか、ということが一つの大きな課題になってくると思っていて、地方創生と同時に格差是正という問題をうまくリンクさせていく方向で動きを進めていきたいと思っています。

(記者)

高市総務大臣の発言ですが、いわゆる一般財源総額を同額ではなく、前年を上回るとおっしゃったのですが、この表現についてはどの程度上回るのかという、その額が目安みたいなものはあるのでしょうか。

(山田全国知事会会長)

額の目安はありませんが、社会保障費が伸びて地方負担が0.7兆円程度伸びていくわけですから、地方創生もある中で、そこをどれだけ上回っていくのかというところが、一つの目安になってくるのではないのでしょうか。

(記者)

東京一極集中が問題となっていますが、東京都に期待することは。

(山田全国知事会会長)

舛添東京都知事には7月の全国知事会議にも全て参加いただきました。東京都は日本の経済を引っ張っていくリーダーでもありますので、我々も期待しております。2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会などがあるわけですから、それが東京都だけの話にとどまらず、日本全体に対して大きな効果を持つように、リーダーシップを発揮していただきたいと思います。

以上